

## 課題 2 : Agora 事例分析 (1)

\* \* \* \* \*

手もとで問題文全体を参照しながら解答できるように、ウェブページ上に掲載している設問をこのプリントにまとめます（説明を一部補足してあります）。必要に応じて参考にしてください。なお、実際の解答はウェブページ上の Agora システムでおこなってください。（Agora にアクセスできないなどの理由で紙に印刷して提出することを指示された場合には、本紙を参照してワープロなどで解答を作成して提出してください。その場合の詳細は担当教員の指示に従うこと。）

\* \* \* \* \*

### 概説 :

E ラーニングシステム Agora 上でおこなう一つめの課題です。

倫理的に適切な行動を考えるためには、まずは問いを適切に立てなければなりません。その上で、その問題点の解決を模索することが求められます。効果的・効率的に行動案を考え出すためには、ケース（事例）における事実関係やステイクホルダーの利害関係・価値観を的確に（必要十分に）把握することが求められます。この課題ではそのための練習をおこないます。

### 分析する事例（ケース） :

**担当教員から指示された事例** : 担当教員から指示された事例を講義内容や教科書などを参考に分析してください。

## 課題：

(質問番号は Agora 上の質問 (設問) 番号に対応)

### 1. 倫理的な問題点の把握

□**質問 1.1.1**：事例の当事者の立場から、直面している問題を表現してください。

答え方についての指示：自分が主人公だとして、何に困っているのかを表現してみましょう。

### 2. 事実関係の整理

□**質問 2.1.1**：解決にとって重要と思われる事実関係を 5 項目以上あげてください。

答え方についての指示：問題に関連する事実関係を整理することで、思い込みや想定外をなるべく避けるように努めましょう。

#### 3.1. ステイクホルダーと価値の整理

□**質問 3.1.1-3.1.2**：事例における主要なステイクホルダー (利害関係者) を 7 者 (個人、組織) 以上あげてください。さらに、これらのステイクホルダーが有している利害を、ステイクホルダーごとにそれぞれ二つ以上あげてください。

答え方についての指示：問題によって影響が及ぶステイクホルダー (利害関係者) をあげましょう。ステイクホルダーは事例の登場人物だけとは限りません。さらにその人たちの行動に影響を与えている利害を整理しましょう。それが倫理的な問題点の適切な分析につながります。

□**質問 3.1.3**：各ステイクホルダーの考察からこの問題を左右している価値を抽出してください。抽象化し過ぎないように注意しながら二つ以上あげてください。

答え方についての指示：ここで抽出された価値が、行動案を考え、さらにそれらを倫理的観点から評価していく際の判断基準になります。「公衆の安全」などと抽象化しすぎないように (「文脈」がわかるように)、置かれている状況を踏まえて具体的に述べてください。

#### 3.2. 倫理的責任を有する人物の特定

□**質問 3.2.1-3.2.2**：ステイクホルダーの中から、倫理的な責任を有する人物を一人選んでください。さらに、その人物を選んだ理由を述べてください。

答え方についての指示：質問 3.1.1 の解答であげたステイクホルダーの中から、エンドユーザーの利害にとくに大きな影響を与える人物を選んでください。

### 3.3. 問題点の構造分析

□**質問 3.3.1**：あなた自身がその倫理的責任を有する人物であるとして、自分自身の価値の対立関係（ジレンマ）について説明してください。

答え方についての指示：質問 3.1.3 の解答であげた価値の対立関係について「×××」を考慮すると△△△であるが、「□□□」からすると○○○である。△△△も○○○も共に重要であるが、同時に両方を満たすことが困難になっている>のように、そのジレンマの構造を説明してください。